



変化の大きい時代に、 わが子はどう生きる？

—親子で一緒に未来探究—

わが子が高校生になり、進路や将来への期待が膨らむ一方で、不安や焦りを感じてしまう方も多いのではないのでしょうか。本特集では、変化が大きく先行きが見通せない現代において、「どうすれば幸せに人生を歩んでいけるのか」という正解のない問いを、親子で一緒に考えるためのヒントを探ります。

子どもから大人になる間の「高校生」という多感な時期。卒業後の進路という大きな選択を前に、どのようにサポートをすればいいのか悩んでいる保護者の方も多いと思います。

高校生とその保護者を対象に行った調査によると、わが子への進路選択のアドバイスについて、約7割の保護者が「難しい」と回答しています(図1)。急速で予測がづらい社会の変化のなか、学校教育や大学入試も保護者の時代から大きく変わってきており、どうアドバイスすればいいのかわからないといった声が多く聞かれています。一方で、約7割の高校生が、一番身近な大人である保護者に進路選択のアドバイスを求めています(図2)。

アドバイスをするのが難しくても、親子で一緒に悩み、対話しながら考えることが大切だと私たちは考えます。親子で対話をする頻度が高いほど、進路に対して不安な気持ちや軽減され、楽しい気持ちになる子どもが多いようです(図3)。この特集では、未来について考える糸口となるような「問い」をご用意しました。ぜひ、親子で対話をするきっかけとしてご覧ください。

高校生と保護者に聞きました!

図2 進路選択について
【高校生】保護者にアドバイスしてほしいか

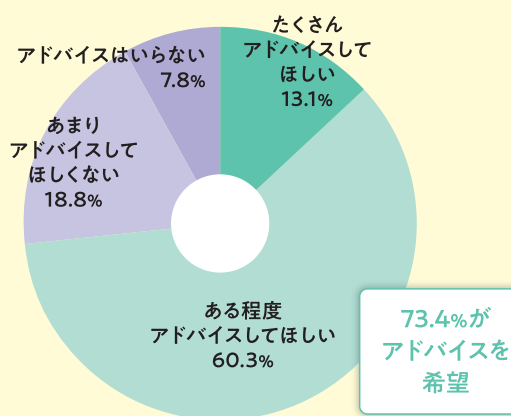


図1 進路選択について
【保護者】子どもにアドバイスすることは難しいか

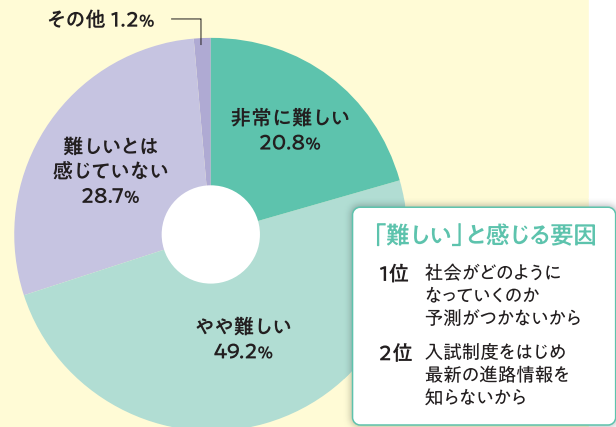
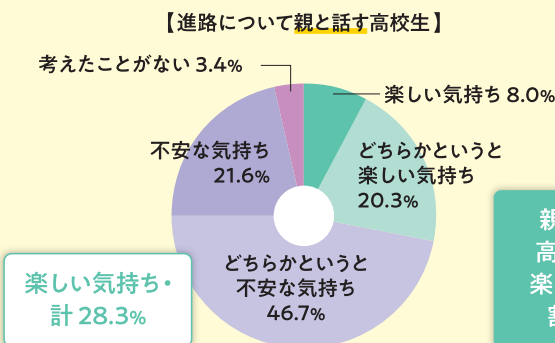
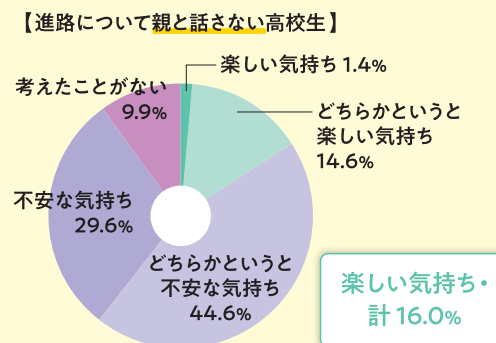


図3 【高校生】進路を考えたとき、どんな気持ちになるか



親と対話する高校生の方が楽しいと感じる割合が高い



一般社団法人PTA連合会・株式会社リクルート合同調査「第12回 高校生と保護者の進路に関する意識調査」(2025年)より

Part 4
「やりたいことが見つからない」への処方箋
体験としばいの数だけ「アタリ」の確率は上がる
↓
21ページ

Part 3
「入試」はどう変わった?
社会の変化に応じて大学入試も多種多様に選択できる時代
↓
17ページ

Part 2
高校生の「学ぶ」はどう変わる?
生徒主体でアクティブに学び、「好き」を育み「得意」を伸ばす
↓
12ページ

Part 1
「働く」はどう変わる?
AIとの協働が必須の時代。共に考える力と軌道修正力がカギ
↓
8ページ